

## 神戸海星女子学院大学「障がい等のある学生への学修支援に関する基本方針」

### 1 基本姿勢

「障害者差別解消法」の改訂にしたがい合理的配慮が義務となりました。神戸海星女子学院大学（以下「本学」という）におきましても、障がいの有無に関わらず、平等な教育機会の確保ならびに支援体制の整備にさらに推進してまいります。

本学の教育理念にある通り、すべての学生に対し、「人を愛し、人を支え、社会に奉仕することのできる女性の育成」（一部抜粋）を目指して教育に尽力してまいりました。また、特に障がい等のある学生に対しては、当該学生、必要に応じ保護者の方と大学との双方において十分に協議を行い、合意形成のもと、適切な支援を行います。

### 2 支援体制

#### (1) 入学前支援

入学試験、入学後の学修について特別に配慮が必要な場合は、受験生の申し出により相談を受け付け、支援の検討を行います。

#### (2) 全学的支援

本学では、学生サポート委員会（学生サポート専門員、教務部、学生部、学生相談委員会、保健室、学生サポート委員）や担任が協議を重ねながら、支援の方法・内容を検討し、実施します。

#### (3) 支援のための情報共有

専任教員、事務職員、非常勤講師には、大学と当該学生との合意内容をもとに、学生サポート委員会を中心として全学的に環境を整えます。

#### (4) 支援内容の決定までの過程

学生本人や保護者からの支援要請を基本とします。さらに、超小人数である本学の良さを生かし、欠席回数等を考慮して学生面談を実施し、必要に応じて支援体制を整えています。別紙支援のフロー図を参照ください。

#### (5) 支援の見直し

毎月の定例学生サポート委員会で支援の進捗を共有するとともに、支援内容の見直しは、原則、学期ごとといたします。

#### (6) 個人情報保護ならびに守秘義務

支援を行う上での情報は厳重に管理します。本人の同意なしで情報を共有することはいたしません。また、支援の内容については、原則、保護者に連絡させていただきます。

#### (7) 支援の申し出

入学前の生徒・保護者におかれましては、(078) 801 2277(代表)まで連絡ください。「サポートの件です」とお申し出いただければ、担当課が対応いたします。入学前生徒は出願手続き前にご相談ください。在学は教務部、学生部、学生相談室、保健室、担任にまず相談してください。その際できる限り、履修変更日までに申し出てください。

※ただし、授業8週目以降については、当該学期の新たな配慮申請を受け付けません。

## 2022 年度に合理的配慮として実施した支援実績と注意点について

神戸海星女子学院大学において 2022 年度合理的配慮申請後の学生に対して提供した支援例です。ただし、これらの支援については参考例であり、配慮内容は個々の申請に基づき当該学生、必要に応じ保護者の方と大学との双方において十分に協議を行い、合意形成のもと、適切な支援を決定いたします。

入学前の生徒・保護者におかれましては、(078) 801 2277(代表)まで連絡ください。「サポートの件です」とお申し出いただければ、担当課が対応いたします。入学前生徒は出願手続き前にご相談ください。配慮申請手続きを経ずに入学された場合は、支援等の準備ができない場合もございますので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

- 修学、学生生活においての見守り支援（担任、学科教員、学生サポート教職員）
- 学修支援室 Stella、学生相談室 Maris において支援
- 講義室内での座席位置の配慮
- 板書等の撮影を許可
- 補助器具（PC、タブレット、ノイズキャンセラー等）の使用を許可
- 講義欠席時の配布資料を後日配付及び希望者には補習
- グループワーク等の講義において、参加できるような支援
- 医師の診断を参考に一部のレポート等の課題提出期限の延長を考慮
- 医師の診断を参考に一部の授業のオンライン受講を許可

※ただし、定期試験については、原則対面で実施した。

2023 年 1 月 学生サポート委員会